

第35回
福岡県
美しいまちづくり
建築賞
作品集

'22
35th.

ご挨拶

福岡県知事

服部誠太郎

本県では、「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県」を目指し、さまざまな施策に取り組んでいます。「福岡県総合計画」では、展開する施策の一つとして、「自然との共生と快適な生活環境の形成」を掲げており、景観形成に資する建築物の表彰などによって、美しいまちづくりに対する県民意識の醸成を図り、快適な生活環境づくりを促しているところです。

「福岡県美しいまちづくり建築賞」は、個性豊かで、美しく、誇りを持って次の世代に継承することができる景観を形成し、美しいまちづくりに著しく寄与する建築物を表彰するために創設し、今回で35回目を迎えます。

ご応募いただいた61の作品の中から、幅広い分野の学識経験者などで構成された選考委員会による厳正な審査を経て、特に優れた5作品を表彰することといたしました。

大賞に選ばれた住宅の部「HOUSE W」、一般建築の部「福岡市立平尾壺園合葬式墓所」をはじめ、いずれの作品も、周辺の自然環境や景観と調和するとともに、潤いのある豊かな生活環境やまちの美しさを創出し、個性と魅力にあふれた作品となっております。

これらの作品を通して、良好な景観形成、快適な生活環境の形成に対する県民の皆さまの意識が高まることを期待しています。

最後に、選考委員をはじめ関係者の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募者の皆さまのますますのご活躍をお祈りいたします。

総評

選考委員長

末廣香織

今年で35回目を迎えた本賞には、「住宅の部」25件、「一般建築の部」36件の応募があり、多様な視点を持つ10名の選考委員によって審査が行われました。応募書類による9月初旬の一次審査を経て、8作品が本賞の現地審査に進み、リフォーム・リノベーション作品を対象とする(一財)福岡県建築住宅センター理事長賞候補の2作品も現地審査に進みました。現地審査は11月中に行われ、その後の最終審査を経て住宅の部2作品、一般建築の部2作品、理事長賞1作品が決定しました。

「住宅の部」の大賞を受賞した「HOUSE W」は、隣接する神社の巨木を取り込むように設計されており、狭い道路の環境改善も含めて、住宅と巨木の関係がまちの風景を作っていることが評価されました。また優秀賞を受賞した「見晴らしと暮らす家」は、文字通り見晴らしの良い快適な室内空間と、まちとの連続した開放的なピロティが評価されました。現地審査に残った「高宮の家」「月亭」は、両者ともに非常によく考えられた、暮らしやすそうな住宅でしたが、受賞には一歩及びませんでした。

「一般建築の部」の大賞を受賞した「福岡市立平尾壺園合葬式墓所」は、現代的な死と向き合うための新しい公共施設です。自然の丘を時を経て変わらぬ共有の墓に見立て、祈りのための静謐な空間をコンクリートによるシンプルで力強い造形で作り出しました。その明快なコンセプトとデザインの適切さ、そして周辺環境との調和が高く評価されました。また優秀賞を受賞した「さくさくファーム」は、地域コミュニティの拠点にもなる農業関連施設です。美しく存在感のある建物だけでなく、敷地周辺まで含めて街並みを整備している活動も評価されました。現地審査に残った「天神ビジネスセンター」は、新しい天神の顔を特徴付ける現代的なデザインのオフィスです。「森のおうち保育園」は、周囲の自然環境と一体的に設計された有機的な空間が魅力的でした。両者とも非常に優れた建築ですが、受賞には一歩及びませんでした。

「理事長賞」を受賞した「light and dark」は、廃校となった小学校の給食室を改装したカフェです。限られた予算の中で、暗さを前面に出した非日常空間を作るという手法が評価されました。現地審査に残った「Brillia Tower 西新/PRALIVA」は、既存建物の構造体を一部再利用して新しい商業施設とマンションを建築したものです。現代的な技術が生かされたプロジェクトですが、受賞には一歩及びませんでした。

福岡県が主催する本賞は、社会的かつ文化的に優れた建築、および建築単体だけでなく地域の価値向上に貢献するプロジェクトを表彰することを通じて、県民の皆様に建築文化への理解を深めていただくことを主旨としています。近年徐々にではありますが、建築のデザインやそれぞれの街の美しさ、歴史性などについて一般の関心が高まってきているように思います。ヨーロッパの街などを旅行されて、その美しさに日本の街並みとの差を感じる方も多いのではないのでしょうか。しかし、彼らではこうした街並みを維持するために長年に亘って多大な努力と資金が投じられています。日本でも伝統的建築物保存地区に指定された街が、当初は荒れ果てた状態でも、時間が経つにつれて美しく整備される事例が多くあります。優れた建築とまちは、長い目で見れば地域の皆さまの重要な有形資産です。しかし、より優れた建築や街並みを作っていく努力を続けなければ、容易にその資産価値は低下していきます。歴史ある本賞が、今後さらに有効に活用され、こうした努力を後押しできる制度となることを期待しています。

目次

ご挨拶	00
総評	01
大賞	02-05
優秀賞	06-07
最終選考対象作品	08
一財:福岡県建築住宅センター理事長賞	09
最終選考対象作品	10
これまでの大賞受賞作品	11-13

大賞

住宅の部

HOUSE W

設計趣旨

隣接する神社の御神木が印象的な敷地に建つ住宅である。神社の緑を景観として取り入れ、狭隘な通りの印象を改善することを念頭に計画した。建物の軸線を御神木に向けて配置し、通りも含めて一体の外部空間として整理することで、狭隘な通りの印象を緩和しつつ、建物は御神木とストレートに向き合う構えとなる。建物は北側の御神木と南の庭をつなぐ筒状の空間とすることで、内部のどの場所からでも外部環境が感じられる。仕上げは内外とも赤味の木とし、神社の緑と補色関係にすることで、色彩の面でも関係を持たせた。

神社の緑、南の庭といった外部環境を横断するような構えとし、この場所との関係を緩やかにつなげることで、双方にとってより良い環境が醸成できればと考えた。

講評

建て込んだ住宅地の中に佇む小さな神社に面して建つ住宅です。神社には地域のシンボルでもあるクスの巨木があり、それに対して大きな開口を取ることで、その存在感と眺めを室内へと取り込んでいます。また、狭小な道路から建物をセットバックして敷地の一部を道路状にすることで、地域の皆さんが通行しやすい拡張された道路空間を作っています。木と建物が対になることで、この街角が特徴的な地域の顔となり、夜になると、室内の光がクスの木を照らすことで、美しく安心感のある風景を作り出しました。

室内は、温かみのある木材の存在感を前面に出し、少し暗い仕上げで統一されています。それでも南側には庭に面して大きな開口が設けられていて、十分な自然光と開放感が得られます。室内の可動間仕切りを全て開放すると、明るい南側からクスの木が見える北側まで風と光と視線の全てが室内を通り抜ける気持ちの良い一体空間が現れます。この可動間仕切りは、季節によって様々に開け閉めして使われるでしょうし、家族が成長して暮らし方が変わっても、柔軟に対応できる仕組みです。少し暗い室内の仕上げ、柔軟な間仕切りと開放性、周囲の自然環境との共存は、実は伝統的な日本家屋が持っていた特徴です。その伝統を現代的な形で再構成した住宅と言えるでしょう。



所在地 福岡市城南区
建築主 個人
設計者 平野公平建築設計事務所 平野公平
〒810-0042
福岡市中央区赤坂2-1-18 荒木ビル402
TEL. 092-406-5972
<http://www.hira-ar.jp/>
施工者 株式会社久木原工務店 代表取締役 久木原圭一
用途 専用住宅
構造規模 木造 2階建
撮影 Kouji Okamoto (Techni Staff)



大賞

一般建築の部 ■ 福岡市立平尾霊園合葬式墓所

設計趣旨

核家族化や死生観の変化で、承継を必要としない新形態の墓の需要が高まり、福岡市が平尾霊園に整備した合葬式墓所。かつて霊園を造成する際に削られた山を修復するよう山裾を延ばし、その下に埋蔵室を埋め、山裾に献花所を設けた。埋設には今回の建設で生じる掘削土を利用して。献花所のまわりを円弧状の壁とベンチで囲み、その外側に既存樹を活かした公園をつくり、墓所と公園という日常・非日常を壁1枚背中合わせで共存させた。公園から献花所は見え、山は風景として映る。故人は山に抱かれ眠り、遺された人は山を前に故人を想い、故人に見守られ公園で過ごす。山の力を借り、特定の宗教色のない、自然と調和した施設をつくった。

講評

福岡市中心部に辛うじて残る小さな丘に作られた合葬墓です。家族のつながりが薄れた現代社会では、家単位で墓を維持することは既に現実的ではなくなりつつあります。一般のお墓に納めることのできない遺骨をまとめて慰霊する場所である合葬墓を公共で整備することは、非常に現代的な社会福祉政策とも言えます。

この難しい課題に対して設計者は、自然の緑豊かな丘の中に遺骨を納める建物を埋め込み、その丘全体を古墳のような大きなお墓と見立て、それに対峙する形で祈りを捧げるための場所を作りました。丘への視界を切り取るように設けられた門形のコンクリートフレームは、非常にシンプルな形状ながらも力強く祈りの場を規定し、彼岸と此岸との境界を示しています。その祈りの場を囲むように設けられた円弧状の壁と、そこから跳ね出すように設けられた屋根は、公園のように広がる屋外空間の中に雑音のない静かな空間を出現させ、外界の日常に対する結界を作っています。それぞれの構造物の大きさや高さは、この空間内外の様々な場所からの視線を制御するように緻密に計算されており、開放性と閉鎖性が絶妙にバランスされています。コンクリート面の微妙な表情の違いやランドスケープのデザインにも細かな配慮があり、周囲へと連続する歩道や入口周りの事務棟のデザインも含めて、霊園に相応しく時を経て変わることもない美しく静謐な雰囲気を作り上げました。



所在地 福岡市南区
建築主 福岡市長 高島宗一郎
設計者 株式会社キノ/アーキテクト 木下昌大
〒161-0033 東京都新宿区下落合2-25-9
TEL. 03-6882-9705
<https://www.kinoarchitects.com/>
施工者 ユーライフホーム株式会社 須崎裕司
用途 合葬式墓所
構造規模 献花所S造 他RC造 1階建
撮影 中村絵

優秀賞

住宅の部

■ 見晴らしと暮らす家

設計趣旨

住宅街の傾斜地にある袋小路に面して建つ住宅である。見晴らしの良い景色を最大限に活かしつつ、1階を多目的なピロティとすることで、地域との繋がりを再構築する場となり、心地良く安心して豊かに暮らしていくことを目指した。

外周部に塀や門扉を設けず、傾斜地という立地を活かしながら、1階の柱とブレースで緩やかに地域と建物が繋がる形態としている。

長く過ごす生活空間は、全て2階の見晴らしの良い景色と隣り合わせとした。時間と共に移ろう風景が日常に溶け込み日々の暮らしを豊かに彩ると共に、夜は生活の灯りがランタンのように柔らかに地域を照らす。住宅街の中にもうっすらと活動が浮かび上がり、地域に安心感と温かさをもたらす。

講評

高台からの眺望を最優先して、基本的な生活空間を全て2階に持ち上げた住宅です。そのシンプルな骨格と大きな開口は、特徴的な敷地の上で存在感を持っています。2階の居住空間には、端から端まで水平に広がる大きな窓があり、切妻屋根の梁を表した高い天井の下で、開放的な空間と素晴らしい眺望を獲得しています。これだけ開放性が高いにも関わらず、建物を包み込む外皮や窓の断熱性能を高めて、季節を問わずに快適な居住空間を実現しています。

趣味のアウトドアライフのための多様な使いみちだけでなく、子どもたちの遊び場やご近所との交流の場にもなりそうなピロティ、狭いながらも子どもたちの隠れ家的場所になっている屋根裏空間と、機能が明確に規定されない贅沢な余剰空間もまた、建物の魅力と可能性を高めています。オーナー自らがデザイナーということもあり、家具や照明器具からスイッチ類に至るまで、隅々に気を配った統一感あるインテリアも洗練されています。自由に使えるような大らかで力強い空間構成の中で、対比的に細かなディテールと気遣いが見えることが、この住宅の魅力となっています。



所在地 福岡市中央区
建築主 個人
設計者 山口直希 山口興英
福岡市中央区
TEL. 090-7046-2625
ynok190782@gmail.com
施工者 株式会社イクスワックス 代表取締役 丹木和彦
用途 専用住宅
構造規模 木造 2階建
撮影 UNGLE 瀬戸正直

優秀賞

一般建築の部

■ さくさくファーム

設計趣旨

建主は建設業を営む傍ら、長年に渡り合鴨農法による無農薬米や野菜を育て地域の子供たちに「食べること・生きること」について考える体験型のワークショップを毎年開催するなど、献身的な社会的活動を続けている。

この建築は、そうした活動の拠点となる地域交流の場を創出することを目的として計画され、自然素材で包まれた木造建築が長閑な周辺環境と呼应するように静かな佇まいを見せている。内部は、建物の半分以上が地域に開放された空間で構成されている。前面道路側には地域食材展示室や交流の場として用意された半屋外の土間空間を配置し、地域に開かれた形式を生み出すことで新たな公共性が育まれることをめざした建築である。

講評

農地が広がる郊外に建つ事務所や店舗空間を持つ農業関連施設です。その長く大きな切妻屋根は、遮るものなく広がる風景の中でも、確固たる美しさと存在感を持っています。屋内外を仕切る大きな木製のガラス戸は、空間を一体的に連続させ、規則的に並ぶ木製の梁を表した高い天井と、土間のような味わいのコンクリートの床は、非常に開放的で大らかな屋内空間を作っています。木材で作られた可動家具や木質系の吸音仕上げ材も含めて、このシンプルに徹した建築は、農業施設らしくコストを抑えながらも機能的であり、ラフで多様な使い方にも適応可能です。こうしたシンプルな空間を作るのは、一見簡単のように見えますが、その背後には、緻密な構造計算や、経験と技術に裏付けられた設計施工上の工夫が必須であり、それがこの建築の美しさと存在感に繋がっています。

施設のオーナーには、この場所を地域のまちづくり拠点にしたいという強い思いがあり、建物周りの庭を整備するだけでなく、地域の方々の理解を得ながら道路沿いの隣地の庭まで一緒に整備してきました。日常的な手入れもまとめて行っているために、美しい景観が維持されていて、今では一帯が地域の顔として認識されてきたようです。

所在地 行橋市
建築主 株式会社放作 代表取締役 藤川放作
設計者 株式会社松山建築設計室
代表取締役 松山将勝
〒812-0011 福岡市博多区駅前4-25-14 ヒロビル8F
TEL. 092-433-1128
<https://www.matsuyama-a.co.jp/>
施工者 株式会社放作 代表取締役 藤川放作
用途 店舗 事務所
構造規模 木造 1階建
撮影 石井紀久



最終選考対象作品

住宅の部 月亭
所在地 大野城市
建築主 個人
設計者 田村の小さな設計事務所 代表 三角健晃
〒814-0175 福岡市早良区田村7-10-15
施工者 株式会社藤松工務店
代表取締役 藤松章二
撮影 石井紀久



住宅の部 高宮の家
所在地 福岡市南区
建築主 個人
設計者 池下成次建築設計室一級建築士事務所
池下成次
〒804-0031
北九州市戸畑区東大谷1-14-17-4F
施工者 株式会社久木原工務店
代表取締役 久木原圭一
撮影 大森今日子



一般建築の部 天神ビジネスセンター
所在地 福岡市中央区
建築主 福岡地所株式会社 代表取締役社長 榎本一歩
設計者 実施設計者 前田建設工業株式会社プロジェクト推進部
九州サテライト設計室室長 本間昌志
〒812-0018
福岡市中央区天神1-12-3 天神木村ビル8階
基本設計者 株式会社日本設計九州支社建築設計部
チーフアーキテクト 前田哲
〒810-0001
福岡市中央区天神1-13-2 福岡興銀ビル
デザインアーキテクト OMA New York Partner
重松象平
NY 10014 180 Varick St #1328, New York, USA
施工者 前田建設工業株式会社九州支店 支店長 南村野誠
撮影 橋瀬友将



一般建築の部 森のおうち保育園
所在地 福岡市中央区
建築主 社会福祉法人レニスカーポート 理事長 角たか子
設計者 株式会社環・設計工房 代表取締役 杉本泰志
〒815-0033 福岡市南区大橋2-2-1
施工者 ユーライフホーム株式会社
取締役 工務部長 田中健次
撮影 satoshi ikuma (TechniStaff)



一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長賞 選考テーマ:既存建築物のリフォーム・リノベーション

■ light and dark

設計趣旨

光と闇の物語。

廃校運営の課題(集客/浄化槽/コスト)を考えるにつれ、いつのまにか建築の普遍的なテーマに辿りついた。浄化槽問題を解決しようとして産まれた余白。そこへ家具/装飾と空間を兼ねた楕円形の床と天井を挿入し、全身を真黒に覆う。その暗がりを優しく包み込むように天井高は1850mmとした。光を知覚するものを照明と呼ぶのであれば、この2枚のプレートもそうだろうか、闇夜のようなプレートのあいだに立つと校舎北側の暗がりの風景は美しく輝きだした。

ありのままの光や風景を美しく。光のために暗さを。課題だらけの廃校改修に携わりながら、そんなことを考えていた。

講評

廃校となった旧猪俣金小学校の給食室を、カフェとして改装したプロジェクトです。非常に限られた予算の中で、既存浄化槽の汚水処理能力内に収まる範囲内でキッチン計画し、その前に特徴的な楕円形の休憩場所を作っています。こうした空間の大きさだけは十分にある改修計画の場合、全てを綺麗に仕上げようとするとコストがかかりすぎます。手を入れる場所を必要最低限まで絞り込み、細かな家具などはワークショップで作るといった工夫をすることで、何とか実現しています。

この空間の中心には、特徴的な楕円形の二つのオブジェがあります。対になって床と天井を形成しているオブジェは、全てが真っ黒に塗られていて、その間に入り込むと、急に小さな個人の空間に閉じ込められて、そこから周りの風景を観察しているような、何とも不思議な感覚になります。学校建築らしく、自然光が十分に入る空間全体は、ステンレス製で光を反射するキッチンもあって明るい印象です。それに対して真っ黒に塗られた楕円は全ての光を吸収するブラックホールのようにも思えます。この空間への入口も、黒い円形をモチーフにしたドアで仕切られていて、異界への入口であることを示唆しています。現代では経験することが少なくなった闇の世界を、明るい雰囲気のカフェの中に出現させたことで、特徴的な非日常空間が生まれました。

所在地 田川市
建築主 株式会社BOOK 代表取締役 青柳考哉
設計者 Atelierkoma一級建築士事務所 松井大佑
〒815-0082 福岡市南区大橋3-22-17-301
TEL. 092-517-0357
<https://atelierkoma.com/>
施工者 株式会社樋口建設 代表取締役 樋口宏房
用途 休憩所 キッチン
構造規模 RC造 2階建
撮影 YASHIRO PHOTO OFFICE



一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長賞
最終選考対象作品

ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては福岡県庁ホームページからもご覧いただけます。

一般建築の部 **Brillia Tower 西新 / PRALIVA**
所在地 福岡市早良区
建築主 東京建物株式会社
九州支店 支店長 原谷隆
西日本鉄道株式会社
住宅事業本部長 松尾利浩
三豊地所レジデンス株式会社
九州支店長 員守学
設計者 株式会社竹中工務店
九州支店 設計部長 森山恒
九州支店 設計部 主任 山根信太郎
〒810-0001
福岡市中央区天神4-2-20 天神幸ビル
施工者 株式会社竹中工務店
九州支店 支店長 藤本博志
撮影 Koji Okamoto (Techni Staff)



一般財団法人福岡県建築住宅センター

建築住宅センターの住まいづくりサポート

- **住宅相談**
専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談
- **住まいづくり教室**
一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催
- **住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度**
耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣
- **生涯あんしん住宅**
在宅ケア・省エネ・耐震等対応モデル住宅の展示
- **インスペクション「住まいの健康診断」**
住まいの専門家による既存住宅状況調査の実施
- **空き家活用サポートセンター**
空き家の活用や処分などに関する専門相談員による相談窓口

●お問い合わせ先
TEL 092 781 5169
www.fkjc.or.jp/

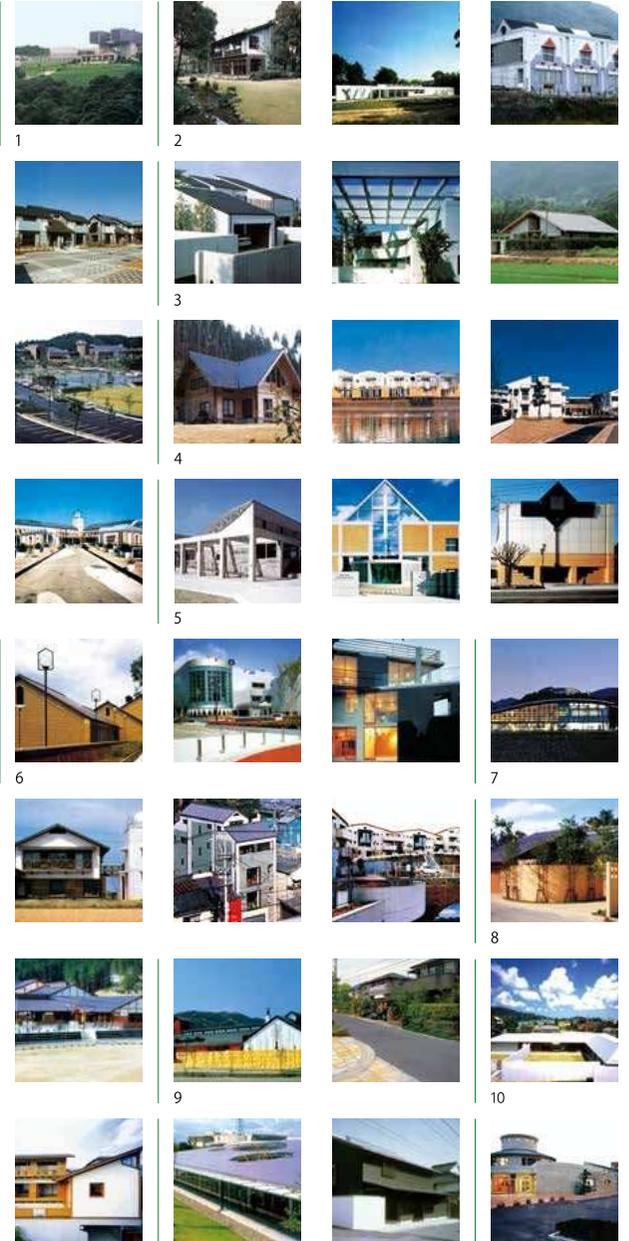
一般財団法人福岡県建築住宅センターは、
福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています。

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として昭和53年に設立されました。
また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応えてまいります。
住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通じて消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通じて、的確な住情報の提供を行っています。また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性(定期報告)に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査、構造計算適合性判定業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞
[建築住宅文化賞] 大賞受賞作品

- 第1回福岡県建築住宅文化賞
昭和63年度
北九州市立美術館
- 第2回福岡県建築住宅文化賞
平成元年度
石橋別荘第一水明荘
福岡医院
花園幼稚園
ヒレッジ香月
- 第3回福岡県建築住宅文化賞
平成2年度
松口邸
的野歯科医院
立花山の家
グリーンピア八女
- 第4回福岡県建築住宅文化賞
平成3年度
進藤邸
不知火病院"海の病棟"
山田市立山田小学校
福岡ウォーターフロント
ブルムナード"マリゾン"
- 第5回福岡県建築住宅文化賞
平成4年度
刈田町立図書館
明治学園高等学校体育館
カルタックスおおむた
- 第6回福岡県建築住宅文化賞
平成5年度
田川文化エリア
福岡県青少年科学館
佐田邸(4世代の家)
- 第7回福岡県建築住宅文化賞
平成6年度
茶の文化館
二丈町の家
山笠の家(橋本邸)
西大谷第2団地(市営住宅)
- 第8回福岡県建築住宅文化賞
平成7年度
綱田邸
上陽町立尾久保小学校
- 第9回福岡県建築住宅文化賞
平成8年度
碓井琴平文化館
新宮漢坂
- 第10回福岡県建築住宅文化賞
平成9年度
穀手の家
大幸町長浦台の家
- 第11回福岡県建築住宅文化賞
平成10年度
瀬高町立図書館・歴史資料館
山村留学ふれあい館(筑穂学舎)
- 第12回福岡県建築住宅文化賞
平成11年度
山田市立下山田小学校

1回-12回



これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞

[美しいまちづくり賞、美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品

13回-27回

第13回福岡県美しいまちづくり賞
平成12年度
めくばーる三輪
青葉台ほんえるふ



13



撮影：岡本公二

14



撮影：岡本公二

第14回福岡県美しいまちづくり賞
平成13年度
大野城の住宅
ひふ科いのクリニック
八女市多世代交流館[共生の森]



15



撮影：岡本公二



撮影：Nスタジオ辻清道



撮影：岡本公二

第15回福岡県美しいまちづくり賞
平成14年度
City Cube
福築幼稚園

第16回福岡県美しいまちづくり賞
平成15年度
SHIMA STYLE
遊辺クリニック横浜
247



撮影：石井紀久



撮影：波川敏



17



18

第17回福岡県美しいまちづくり賞
平成16年度
カルシア小戸テナチュア

第18回福岡県美しいまちづくり賞
平成17年度
昭和初期和風住宅の移築プロジェクト
西南学院中学校・高等学校
伊田堅抗槽二本煙突(景観賞)



撮影：石井紀久



撮影：波川敏



19



20

第19回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成18年度
TERZETTO(テルツェット)
中村製紙所新社屋



20



21



撮影：石井紀久



22

第20回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成19年度
浜崎の長屋

第21回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成20年度
奥神原の家
アキラ博多



23



24



撮影：石井紀久



25

第22回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成21年度
ベットと暮らす家[K邸建築工事]
天神MENTビル



撮影：みどりの写真



撮影：石井紀久



撮影：Y.hiragane/Techni Staff



26

第23回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成22年度
豊前の家
下川歯科医院

第24回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成23年度
むさしヶ丘の住宅
線上天火葬場



撮影：みどりの写真



撮影：石井紀久



撮影：Y.hiragane/Techni Staff



26

第25回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成24年度
四季の家
料亭 嵯峨野



撮影：河野博之



撮影：石井紀久



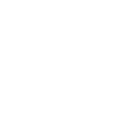
撮影：吉田真由美/アーキテクチュア



27

第26回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成25年度
Obi house
筑紫保育園 分園

第27回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成26年度
大池の住宅
椎木講堂



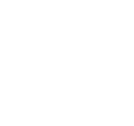
撮影：河野博之



撮影：石井紀久



撮影：吉田真由美/アーキテクチュア



27

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞

[美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品

28回-34回

第28回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成27年度
松原の家
BOATHOUSE OHORI PARK



撮影：Techni Staff

28



撮影：Kouji Okamoto



撮影：松野博之

29



撮影：株式会社エスエス

第29回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成28年度
大宰府の家
SHIP'S GARDEN



撮影：石井紀久



撮影：鈴木研一

30



©Yusuke Hiragane



撮影：坂口写真工房
福岡回廊

31



撮影：松田拓実

第30回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成29年度
糸島の家 [MPラボ]
西南学院大学図書館

第31回福岡県美しいまちづくり建築賞
平成30年度
小屋の閣
すばる保育園



撮影：鈴木研一

32



撮影：OMORI KYOKO



撮影：八代写真事務所

33



撮影：八代写真事務所

第32回福岡県美しいまちづくり建築賞
令和元年度
平和の家
福岡県弁護士会館

第33回福岡県美しいまちづくり建築賞
令和2年度
浦志の家
嘉麻市庁舎



©Yusuke Hiragane

34



©SS Co., Ltd.

第34回福岡県美しいまちづくり建築賞
令和3年度
TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE
柳川市民文化会館 水都やながわ

第35回 福岡県 美しいまちづくり 建築賞 作品集

'22 35th.

表彰の趣旨

今回で35回を迎える福岡県美しいまちづくり建築賞は、福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与するものです。

応募部門

●住宅の部

- ・一戸建ての専用住宅。
- ・ただし、併用住宅で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。
- ・長屋建住宅及び共同住宅等の集合住宅、街区を形成する住宅群。
- ・ただし、複合用途で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

●一般建築の部

- ・原則として住宅の部以外の建築物を対象とします。

※概ね10年前以降に竣工「増改築・修繕等含む」したものであれば、過去に応募したものでも再度の応募は可能です。

「福岡県美しいまちづくり建築賞で受賞したものは除きます」

選考委員会

五十首順 敬称略 ●委員長 ○副委員長

- 池田美奈子 九州大学大学院芸術工学研究院准教授
- 石塚康弘 一財・福岡県建築住宅センター理事長
- 大森今日子 写真家
- 黒瀬武史 九州大学大学院人間環境学研究院教授
- 坂口舞 有限会社設計機構ワークス代表取締役
- 末廣香織 九州大学大学院人間環境学研究院教授 ●
- 知足美加子 九州大学大学院芸術工学研究院教授
- 塚崎謙太郎 西日本新聞社くらし文化部長
- 矢作昌生 九州産業大学建築都市工学部建築学科教授 ○
- 山本哲也 福岡県建築都市部次長

主催・福岡県

- 協賛 一財・福岡県建築住宅センター
- 後援 独法・住宅金融支援機構九州支店
- 独法・都市再生機構九州支社
- 福岡県住宅供給公社
- 公社・福岡県建築士会
- 公社・福岡県建築士事務所協会
- 公社・福岡県建設業協会
- 公社・福岡県宅地建物取引業協会
- 公社・九州住宅産業協会
- 公社・日本建築家協会九州支部
- 公社・日本建築学会九州支部
- 公社・日本都市計画学会九州支部
- 特非・日本都市計画家協会福岡支部
- 福岡県ゆとりある住まいづくり協議会
- 福岡県建設業協同組合